学校番号	1302

令和８年度　（学）マリンライフ科

教科	（学）ﾏﾘﾝﾗｲﾌ	科目	（学）水産実習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大阪湾に面した地域性を活かして、海に関わる体験を通し、積極的に参加する態度を身につけ、また、準備、実践、後かたづけなどから責任ある態度を養う。ボランティア活動などを通して、新しい自己の発見をめざすと共に、地域や社会に積極的に寄与する意欲や態度を育てる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・海洋学や水産学の基礎知識を身につける。
・養殖実習や生物捕獲などの基礎技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・効率よく安全に養殖や捕獲ができるか考えられるようにする。
・自分の考えをまとめて討議する能力や、結果をまとめて発表する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・学習活動に適した身だしなみや態度を育成し、社会性を育む。
・集団の規律を守り、協調性を養う。
・発展的な課題に積極的に取り組む姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・海以外にも山や川などの自然環境に関する知識を習得させる。	・海洋生物の捕獲や養殖を通して、観察力や計画力を養う。	・自然海岸や里山が近隣にある環境を活用し、自然環境の中での人間の在り方を考える。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	タコツボ漁実習	タコツボを作り、漁業組合や海洋センターの協力で､タコツボ漁を体験する。	a:タコの習性を学習し、そのイメージでタコツボを作る。 b:イメージをかたちにする能力を高める。 c:捕れたタコの測定記録と、自然相手の仕事の難しさをまとめる。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度 作品の出来映え	取り組む態度 レポート
	調理実習	地域の産物(特に魚類)を利用して調理が出来るように､調理の基礎を学ぶ	a:魚類の体の構造と解剖を通して確認し､技術と知識を習得する b:情報機器やウェアラブル端末を活用し、調べる力や表現力を養う。 c:生涯の豊かな生活を送るための趣味を見つけて高める。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度 作品の出来映え	取り組む態度 レポート
	竹炭つくり	岬町の協力により、間伐竹を利用し､環境保全手法を体験するとともに､利用方法を模索する	a:海以外にも山や川などの自然環境に関する知識を習得する。 b:地域の人々との共同作業により、コミュニケーション能力を高める。 c:地元の漁業組合や観光協会等と協働し､地域の資源に新たな付加価値を生み出す面白さを実感するとともに、地域産業の活性化について考える。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度	取り組む態度 レポート

	豊かな大阪湾再生プロジェクト	アマモ場の再生活動 アマモの種子を採集し、養殖して浜辺に植え付けて、アマモ場を増やす。	a:アマモの生態の学習と、アマモ場の調査を行い、自然環境保全意識を高める。 b:アマモの養殖をとおし、観察力と結果をまとめる能力を向上させる。 c:アマモを植える場所の選定、植える密度などを考察し、実践する。	ワークシート 取り組む態度	取り組む態度 レポート	取り組む態度 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度